

7029

# 和食器

## 松山製陶(株)

SHOZAN SEITOU

事業所名	松山製陶(株)	FAX番号	0561-82-8900
代表者名	松原 一茂	Eメール	G-cazulin@shozangama.com
所在地	〒489-0028 瀬戸市西窯町55	ホームページ	http://www.shozangama.com
連絡先	0561-82-4856	部会名	赤津製品部会

祖父と先代が昭和33年に創業しました。当時は生協で出すような物やたち吉などのOEM一般和食器が多く、織部はほんの一部でした。

私が26年前に家業に入り、数年してからこれからは窯元としての特長を出していかなくてはならないと思ひ、特化した物づくりを考えたときに織部を選びました。今では、織部の商品が90%になります。

織部を選択したのは、伝統工芸品の赤津焼の釉薬で付加価値があり、その分手間はかかりますが特化した商品としては最適だと考えました。ピンホールが出たり、流れたりしますので技術が必要となり、原材料も掘る場所によって土の成分も変わり焼き上がりが違ったり、焼いた後も渋抜き作業もあり手間がかかりますが、やり甲斐のある商品づくりだと考えています。

当社の織部は、昔の柄を大切にしながら現代風にデザインしアレンジした織部を特長としています。昔の風合いを生かしながらバラや織部にピンクの絵の具を使うなど斬新なデザインを施したり、江戸時代の手ぬぐいの柄を織部柄にしてみたりと今の時代に合った織部を提案しています。マンションの白い部屋の白いテーブルに合わせるにはどうしたらいいかと考えたのが織部モダンシリーズの始まりです。

東京ドームでのイベントに瀬戸織部として十数年前から出品しています。各出品数には規定があり数に

限りがありますが、当社から卸している業者さんも出品されるので、当社の織部商品が1/3ほど占める時もあります。当社の織部は普段使いの織部の器では人気があります。



赤津夢桜



織部椿



織部うさぎ



彩ばら織部



織部新椿



現代織部

和食器

ノベルティ

花器

陶芸台

その他

灰釉

鉛釉

黄瀬戸釉

天目釉

柿釉

織部釉

志野釉

御深井釉

マント釉

染付

上絵付

その他